

奉仕活動レポートの手引き

ライオンズ会員並びに非会員に奉仕のストーリーを伝えるためのポイント

【原稿】

- ◆ 活動の内容：いつ、どこで、だれを対象に、何を行ったか
- ◆ 目的：地域社会のどのようなニーズを捉え、どのような成果を目指して実施したか
- ◆ 過程：企画に当たってどのような点に留意したか。実現までに困難があった場合は、それをどのように克服したか
- ◆ 結果：活動によって地域や人々にどのような影響や変化があったか。地域の人たちからどのような反応があったか

* 読み手に伝わらない原稿

- 出席した人の肩書きや名前を長々と並べる
- スケジュールやプログラムを羅列する
- 文章が長すぎて要点が分かりにくい

【写真】

- ◆ 集合写真やポーズを取った写真ではなく、活動中の自然な様子を撮影
- ◆ だれが、何をしているか場面か、活動の内容がよく分かる瞬間を切り取る
- ◆ 参加者やライオンズ会員の楽しそうな様子、真剣な様子など生き生きとした表情を捉える
- ◆ ライオンズのロゴの入ったユニフォームや帽子、のぼりなどを効果的に構図に取り入れる
- ◆ 表情の良い人物のクローズアップ、会場全体の雰囲気をつめた引きの写真など、バリエーションを持たせる

* 肖像権、著作権に注意

- 広報用写真を撮影することを予め参加者に伝え、了解を得る
- 個人が特定できる写真の撮影が不可の場合は、後方からの撮影や、ライオンズメンバーを中心とした構図にする
- プロや会員以外の人が撮った写真を使う場合は使用許可を得る